

自動発注管理システム提供

エンジンオイル 配送で初の全道展開

【札幌】ゼロスペック（札幌市中央区・多田満朗社長）はこのほど、同社が提供する自動発注配送管理システム「GoNOW」がトヨタモビリティパーツ北海道統括支社のエンジンオイル配送に導入されたことを発表した。オイル配送における全道規模の展開は、今回が初の導入事例となる。



残量を自動計測し「GoNOW」上で可視化

従来、エンジンオイル配送は定期的な巡回により行われているがいざ配送してみるとオイル残量に余裕があるケースも少なくない。要因としてはタンクを

ゼロスペック

直接確認するしか残量把握の方法がないことがあげられる。最適な配送計画を組むことが困難な状況で1配送当たりの給油量やコスト

スベックではトヨタモビリティパーツ北海道統括支社からの依頼を受けて2022年11月から1年間、札幌圏でセンサーを約200台設置し、エンジンオイル配送の共同実証実験に取り組んでいた。同

率の向上を図る仕組み構築が長年の課題とされてきた。こうしたなか、ゼロ

クに設置したIoTデバイス（スマートセンサー）が残量を自動計測し、自動発注配送管理システム「GoNOW」上で可視化することで配送の最適化を実現するもの。

実証実験の結果、総給油量が1・2倍（前年比）になるといふ成果を確認できたことから、今年6月以降は約500台までセンサーの増設を計画。今月